

## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月14日  
東

上場会社名 株式会社京三製作所 上場取引所  
 コード番号 6742 URL <https://www.kyosan.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 戸子台 努  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 神沢 健治郎 (TEL) 045-503-8106  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,854	20.0	△963	—	△635	—	△549	—
2020年3月期第1四半期	8,213	△21.6	△1,501	—	△1,312	—	△1,023	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △500百万円( —%) 2020年3月期第1四半期 △1,483百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△8.76	—
2020年3月期第1四半期	△16.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	102,108	44,152	43.2
2020年3月期	106,760	45,406	42.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 44,152百万円 2020年3月期 45,406百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.00	—	12.00	17.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定です。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社 ( — )、除外 — 社 ( — )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	62,844,251株	2020年3月期	62,844,251株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	126,594株	2020年3月期	126,570株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	62,717,659株	2020年3月期1Q	62,717,787株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響から個人消費や企業活動が大きく制限されるなど、極めて不安定かつ不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは新型コロナウイルスの感染リスクを最小限にとどめるための対策を講じながら、顧客要求に対応するべく各事業を推進してまいりました。

受注につきましては、信号システム事業において第2四半期以降に一部案件が繰り延べとなったこと、またパワーエレクトロニクス事業において通信設備用電源装置案件の繰り延べのほか、産業機器用電源装置の受注が減少したことから、前年同期を大きく下回りました。

売上につきましては、信号システム事業、パワーエレクトロニクス事業ともに堅調に推移したことから、前年同期を上回りました。

利益面につきましては、売上の増加により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高18,558百万円（対前年同期比5,968百万円減）、売上高9,854百万円（対前年同期比1,640百万円増）、営業利益△963百万円（対前年同期比538百万円増）、経常利益△635百万円（対前年同期比676百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益△549百万円（対前年同期比474百万円増）となりました。

セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

#### [信号システム事業]

鉄道信号システムでは、受注は公営鉄道およびJR・民鉄各社向け信号設備・ホームドア、中国向け電子連動装置用品、インド国鉄向け電子連動装置などがありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により一部案件が第2四半期以降へ繰り延べとなったことから前年同期を大きく下回りました。売上は公営鉄道およびJR・民鉄各社向け信号設備・ホームドア、中国向け電子連動装置用品などがあり、前年同期を上回りました。

道路交通システムでは、交通信号制御機、交通信号灯器などの拡販に努めた結果、受注は前年同期を下回りましたが、売上は前年同期を上回りました。

この結果、当事業では受注高14,239百万円（対前年同期比5,538百万円減）、売上高6,232百万円（対前年同期比806百万円増）となりました。なお、セグメント利益は△74百万円（対前年同期比374百万円増）となりました。

#### [パワーエレクトロニクス事業]

受注につきましては、通信設備用電源装置は一部案件が第2四半期以降に繰り延べとなったこと、産業機器用電源装置はFPD製造装置への設備投資が抑制されたことなどから、前年同期を下回りました。

売上につきましては、通信設備用電源装置は前年同期を下回ったものの、産業機器用電源装置は半導体製造装置用電源装置が前期の需要低迷から脱したことにより前年同期を上回りました。

この結果、当事業では受注高4,319百万円（対前年同期比430百万円減）、売上高3,622百万円（対前年同期比834百万円増）となりました。なお、セグメント利益は368百万円（対前年同期比187百万円増）となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による顧客の設備投資の状況が不透明であり、現時点では合理的な算定が困難であるため、引き続き未定といたします。

現在、顧客の設備投資計画の把握に努めており、今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,115	6,871
受取手形及び売掛金	32,991	20,674
製品	3,228	3,611
半製品	6,327	6,356
仕掛品	22,354	27,946
原材料及び貯蔵品	464	464
その他	1,360	1,766
流動資産合計	72,841	67,691
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,856	9,665
その他（純額）	4,993	4,555
有形固定資産合計	13,849	14,220
無形固定資産	1,436	1,426
投資その他の資産		
投資有価証券	15,689	15,760
繰延税金資産	1,108	1,163
退職給付に係る資産	543	563
その他	1,303	1,295
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	18,633	18,770
固定資産合計	33,919	34,417
資産合計	106,760	102,108

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,445	9,430
電子記録債務	4,817	6,161
短期借入金	13,000	11,500
1年内返済予定の長期借入金	5,229	7,229
未払法人税等	1,038	220
役員賞与引当金	108	43
受注損失引当金	312	210
環境対策引当金	346	346
その他	7,330	8,417
流動負債合計	44,627	43,558
固定負債		
長期借入金	12,698	10,418
退職給付に係る負債	3,589	3,576
資産除去債務	143	146
繰延税金負債	91	19
その他	204	237
固定負債合計	16,727	14,397
負債合計	61,354	57,956
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,270	6,270
資本剰余金	4,625	4,625
利益剰余金	29,575	28,273
自己株式	△44	△44
株主資本合計	40,426	39,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,342	5,349
為替換算調整勘定	△285	△278
退職給付に係る調整累計額	△77	△42
その他の包括利益累計額合計	4,979	5,028
純資産合計	45,406	44,152
負債純資産合計	106,760	102,108

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	8,213	9,854
売上原価	6,868	7,870
売上総利益	1,345	1,983
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	719	740
賞与	202	236
役員賞与引当金繰入額	20	43
退職給付費用	62	59
減価償却費	109	106
荷造及び発送費	234	253
その他	1,499	1,507
販売費及び一般管理費合計	2,846	2,947
営業損失(△)	△1,501	△963
営業外収益		
受取配当金	137	167
受取保険金	137	119
持分法による投資利益	—	72
為替差益	—	28
その他	43	30
営業外収益合計	317	417
営業外費用		
支払利息	32	41
資金調達費用	5	43
持分法による投資損失	11	—
為替差損	72	—
その他	5	4
営業外費用合計	127	89
経常損失(△)	△1,312	△635
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除売却損	9	1
特別損失合計	9	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,321	△637
法人税等	△297	△88
四半期純損失(△)	△1,023	△549
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,023	△549

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,023	△549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△442	6
為替換算調整勘定	△19	7
退職給付に係る調整額	13	35
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△0
その他の包括利益合計	△459	48
四半期包括利益	△1,483	△500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,483	△500
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,321	△637
減価償却費	471	446
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	50	35
持分法による投資損益(△は益)	11	△72
受取利息及び受取配当金	△145	△173
支払利息	32	41
売上債権の増減額(△は増加)	18,666	12,342
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,299	△5,984
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,730	△1,665
その他	419	14
小計	10,154	4,347
利息及び配当金の受取額	146	175
利息の支払額	△50	△76
法人税等の支払額	△930	△860
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,320	3,585
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△477	△504
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
有形固定資産の取得による支出	△259	△185
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△18	△121
その他	△20	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△782	△799
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7,500	△1,500
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	△279	△3,279
配当金の支払額	△627	△752
その他	△6	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,414	△2,540
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	122	251
現金及び現金同等物の期首残高	5,616	6,115
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,739	6,367

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	パワーエレクト ロニクス事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	5,425	2,787	8,213	—	8,213
セグメント間の内部 売上高または振替高	2	17	19	△19	—
計	5,427	2,805	8,232	△19	8,213
セグメント利益または損失(△)	△449	180	△268	△1,233	△1,501

(注)1 セグメント利益または損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,233百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

	アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	2,977	30	3,007
II 連結売上高(百万円)	—	—	8,213
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	36.2%	0.4%	36.6%

(注)1 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・・・・中国、台湾等

(2) その他・・・・・・アメリカ等

2 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	パワーエレクト ロニクス事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	6,232	3,622	9,854	—	9,854
セグメント間の内部 売上高または振替高	0	140	140	△140	—
計	6,232	3,762	9,994	△140	9,854
セグメント利益または損失(△)	△74	368	293	△1,257	△963

(注)1 セグメント利益または損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,257百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

	アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	3,626	71	3,697
II 連結売上高(百万円)	—	—	9,854
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	36.8%	0.7%	37.5%

(注)1 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・・・・インド、中国、韓国等

(2) その他・・・・・・アメリカ等

2 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。